



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2009. 10 月号

秋季
特別展

山と海を結ぶ道

—相模川・相模湾の水運—

会期:2009年10月3日(土)～11月29日(日)

江戸時代、相模川は相模国の物流の大動脈でした。

その河口に位置する須賀・柳島は山・海から運ばれた物資・人の集散地として繁栄しました。

現在では想像することも難しい水運の歴史がそこにはありました。

ここで営まれた水運の歴史は平塚はもちろん、相模川流域や相模湾岸の歴史を考えるうえでも無視することはできません。

本展示では、相模川・相模湾の水運を物語る資料の紹介を通して、失われた水運の歴史を浮かび上がらせたいと思います。

展示構成紹介

I 相模川の船と水運

高瀬船や筏など、相模川をゆく船に関する資料を紹介します。



富士三十六景さがみ川
歌川広重筆
(厚木市郷土資料館蔵)



炭俵 (当館蔵)



文化4年(1807)10月
当戌年高瀬船員数書上帳
(角田信彰氏蔵)

II 相模湾の海運と須賀・柳島の廻船

相模湾を行き来した廻船と廻船問屋の繁栄を物語る資料を紹介します。



廻船妙法丸模型 (当館蔵)



幟旗「嘉儀丸」
(浦田弘氏蔵)



太平年表録 (藤間雄蔵氏蔵)

III 絵葉書にみる相模川・相模湾の失われた風景

戦前の絵葉書の紹介を通して、かつての相模川・相模湾の様子をかいまみます。



与瀬下発船所付近の景 © 山本書店
(相模原市立博物館蔵 津久井郷土資料室保管)



津久井長瀬の夕景 © 山本書店
(相模原市立博物館蔵 津久井郷土資料室保管)



平塚町郊外須賀港
(大磯町郷土資料館蔵)

【記念講演会】 第1回「相模川・相模湾水運における須賀・柳島の位置」

講師: 早田旅人 (平塚市博物館)

日時: 10月17日(土) 14時～15時30分

第2回「近世の相模川・相模湾水運—津久井・須賀・柳島・神奈川」

講師: 西川武臣氏 (横浜開港資料館)

日時: 11月7日(土) 14時～15時30分

イブニング・ミュージアム・ウィーク

秋

10月27日(火)～11月1日(日)

秋の夜長、仕事帰りにも博物館を楽しめるイブニング・ミュージアム・ウィークです。今回は「相模湾六夜六話」と題して平塚市博物館が擁する6分野がそれぞれ相模湾や海にまつわる話題をお届けします。期間中は開館時間を午後7時まで延長します

※常設展・特別展の観覧もできます。入館は午後6時30分までです。

相模湾 六夜六話

テーマ：当館学芸員等による相模湾にまつわる講話

場所：博物館講堂

時間：18:00～19:00（参加自由）

第一夜 10月27日(火)「相模湾の海底地形」

当館学芸員 森 慎一

「波浪観測塔と地震観測施設」

東北大学名誉教授 近藤純正氏

第二夜 10月28日(水)「海で見える星」

当館学芸員 澤村泰彦

第三夜 10月29日(木)「秋期特別展 展示解説」

『山と海を結ぶ道 - 相模川・相模湾の水運 -』

当館学芸員 早田旅人

第四夜 10月30日(金)「相模湾の民俗」

当館学芸員 浜野達也

第五夜 10月31日(土)「貝塚が語る縄文の海辺」

当館学芸員 栗山雄揮

第六夜 11月 1日(日)「ウミガメのはなし」

新江ノ島水族館学芸員 小谷野有加氏

海洋生物研究者 倉持卓司氏

「おねがひ!!! だるま かなえて!!! えま」

私達は願かけの代表である、だるまや絵馬など民俗部門の資料を用いて展示制作を行いました。資料の作られた場所や時代による変化を見ることによって、人々がどのようなことを願っていたのかを知ってもらうことが狙いです。展示の構成は相州だるま・全国のだるまコレクション・絵馬の大きく分けて3つです。平塚市でつくられた伝統ある相州だるまは今回の展示の見所の1つです。また、ひな段にのっているだるま達の地域による形の違いもお楽しみ下さい。そして、

絵馬では現在では使われていない図柄のものも展示しましたので、現在の願いと比べてみて下さい。

この展示を通して、だるまや絵馬をより身近なものに感じて頂けたら幸いです。お願いごとコーナーも設置しましたので、ご来館の際には是非皆さんのお願いごとを飾って下さい。



実習生と完成した展示

博物館実習を終えて

この7日間で私たちは学芸員の仕事について、展示企画・普及活動に参加させて頂き、大学の授業だけでは学べないような多くのことを体験する事ができました。今回の企画展示ではテーマを与えられず、一から自分たちで企画の発案から制作までを行いました。一番苦労したことは時間配分やテーマ・ねらいを考えることです。今まで展示を見る側だったのが実際に展示する側になったとき、小さい子や年配の方まで幅広い年代の方に見やすい展示にするために、文字の大きさ、漢字の振り仮名、パネルの高さなど細かい点まで気をつけなければならず、実習生みんなで根気よく話し合いました。20大学から集まった21名の実習生が、短期間で展示を仕上げなければいけないという日程のなかでも、全員が一丸となって展示を制作し完成できた事は、これからの人生において貴重な経験になったと思います。実習期間中お世話になった学芸員の皆様には本当に感謝するばかりです。(日本大学 金子由梨奈)

展示制作中



9/9(水)～9/16(水)

一週間の博物館実習のなかで学芸員の方々、実習生のみんなにはとてもお世話になりました。この平塚市博物館は地域交流が盛んな博物館であり、普及活動としてフィールドワークや各部門の研究を行っています。その活動について私たちは新たな企画を発案し会員の方々に発表しましたが、既存の活動に比べてとても安易なものになってしまいました。そこで、その普及活動をこの博物館でやる意味を考えなければならないということを学び、それがどんなに大変であるかを実感できました。この実習では来館者としての視点だけでなく、学芸員の視点から物事を見ることができ、とても良い経験になりました。この実習で学んだことを将来に活かせるように日々精進していきたいと思います。一週間ありがとうございました。

(法政大学 野木元輝)

普及活動の企画発表



このページの編集も博物館実習生が担当しました

1	木	展示解説ボランティアの会	講堂
2	金	古文書講読会	講堂
3	土	☆ プラネタリウム「月へ行こう！」 ～11月29日	プラネ
3	土	☆ 秋期特別展「山と海を結ぶ道・相模川・相模湾の水運」～11月29日	特別展示室
4	日	地質調査会	野外(雨天:科学室)
4	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
6	火	体験学習「縄文土器を作ろう」(一般向)	科学室
7	水	石仏を調べる会	館外・上吉沢
8	木	古文書講読会	講堂
9	金	天体観察会	屋上・科学室
10	土	平塚の古代を学ぶ会	講堂
11	日	振替休館日	
13	火	自然教室「秋休み船上観察会」	須賀・海上
14	水	キノコ観察会	館外・吉沢
15	木	展示解説ボランティアの会	講堂
16	金	古文書講読会	講堂
17	土	古代生活実験室	科学室
17	土	地質調査会	特研室
18	日	◎ ろばたばなし	相模の家
18	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
18	日	星まつりを調べる会	野外
21	水	民俗探訪会	館外・小田原市
21	水	裏打ちの会	科学室
22	木	石仏を調べる会	特研室
23	金	古文書講読会	講堂
23	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
24	土	お囃子研究会	講堂
24	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
25	日	相模川の生い立ちを調べる会	科学室
25	日	◎ 平塚の遺跡を歩く	野外(雨天中止)
27	火	◎ 体験学習「縄文土器を作ろう」(一般向)	屋外(雨天順延)
27	火	◎ イブニングミュージアムウィーク(秋編)～11月1日	博物館
27	火	◎ 相模湾の海底地形	
27	火	◎ 波浪観測塔と地震観測施設	
28	水	◎ 海で見える星	講堂
29	木	◎ 秋期特別展 展示解説	
30	金	◎ 相模湾の民俗	
31	土	◎ 貝塚が語る縄文の海辺	
31	土	☆ 企画展示「深海・相模湾に潜る」～11月29日	寄贈品コーナー

1	日	◎ ウミガメのはなし	講堂
1	日	◎ 旭南の石仏を訪ねて	館外・旭南地区
1	日	◎ 自然観察ウォーキング	土屋
5	木	展示解説ボランティアの会	講堂
6	金	古文書講読会	講堂
7	土	◎ 自然教室「落ち葉で遊ぼう！」	土屋
8	日	◎ 自然観察ウォーキング	土屋
8	日	地質調査会	野外(雨天:科学室)
8	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
12	木	(湘南コケの会)	講堂
12	木	石仏を調べる会	館外・上吉沢
13	金	古文書講読会	講堂
14	土	古代生活実験室	科学室
14	土	相模川の生い立ちを調べる会	館外・相模原市(雨天:特研室)
15	日	◎ ろばたばなし	相模の家
15	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
15	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
18	水	民俗探訪会	館外・小田原市
18	水	裏打ちの会	科学室
19	木	(神奈川キノコの会)	科学室
19	木	展示解説ボランティアの会	講堂
20	金	古文書講読会	講堂
20	金	お囃子研究会	講堂
21	土	星まつりを調べる会	野外(雨天:科学室)
21	土	地域史研究ゼミ	特研室
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
22	日	地質調査会	科学室
22	日	◎ 平塚の遺跡を歩く	野外(雨天中止)
26	木	石仏を調べる会	特研室
27	金	古文書講読会	講堂
27	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
28	土	◎ 考古学入門講座	講堂

プラネタリウム一般投影

☆「月へ行こう！」

投影日:10月3日(土)から11月29日(日)までの
土・日曜日の午前11時・午後2時
観覧料:100円(中学生以下無料) 定員86名

寄贈品コーナー

☆「おねがい!! だるま かなえて!! えま」

日 時:9月17日(木)～10月29日(木)
場 所:展示室1F 寄贈品コーナー

参加者募集

◎「プラネタリウムで宇宙を学ぶ会」

ガリレオに始まる宇宙の探求②ケプラーの法則と万有引力の法則
日 時:10月18日(日) 午後3時30分～午後4時30分
場 所:プラネタリウム(参加自由)

◎自然教室「秋休み船上観察会」

漁船に乗って平塚の海をクルージングします。
日 時:10月14日(水) 午前9時30分～午前11時30分
場 所:須賀・海上
申 込:往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。
定 員:20人(多数の場合抽選) 10月6日必着。
その他:荒天時中止 小中学生は保護者同伴のこと
(応募時に同伴する保護者氏名を明記してください)

◎キノコ観察会(荒天時中止)

雑木林のキノコを観察し、生物の多様性を学びます。
キノコは食べません。
日 時:10月15日(木) 午前9時50分～午後3時
場 所:吉沢
申 込:往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。
定 員:15人(多数の場合抽選) 10月8日必着。

◎ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。
日 時:10月18日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時～
場 所:展示室1F 民家
参 加:自由

◎星を見る会「木星と秋の星座」(雨天、曇天中止)

木星のしま模様やガリレオ衛星を望遠鏡で眺めます。
日 時:10月23日(金) 午後7時～午後8時30分
場 所:博物館屋上・科学室
参 加:自由

◎平塚の遺跡を歩く「大神・田村の遺跡」(雨天中止)

大神・田村地区を歩いて遺跡を見学します。
日 時:10月25日(日) 午前10時～午後3時
場 所:大神・田村地区
申 込:往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。
10月16日必着。

定 員:20人(多数の場合抽選)

◎旭南の石仏を訪ねて(雨天中止)

石仏を調べる会の案内で旭南地区(山下、高根、万田、出縄)の石仏を見学します。
日 時:11月1日(日) 午前10時～午後3時
場 所:旭南地区(山下、高根、万田、出縄)
申 込:往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。
10月19日必着。
定 員:20人(多数の場合抽選)

☆:展示、プラネタリウム ○:申込制 ◎自由参加 無印:年間会員制